



平成23年8月31日 阿戸町連合町内会発行

メールアドレス/atochounaikai-info@hyper.ocn.ne.jp
ホームページアドレス/www.com-net.city.hiroshima.jp/ato



「区長を囲む会」の開催について

六月二十七日、阿戸福祉センターにおいて「区長を囲む会」を開催いたしました。
安芸区役所からは、皆本区長を始め十八名、阿戸町からは、松田連合町内会長を始め二十四名が出席しました。

松田連合町内会長のあいさつ、皆本区長のあいさつに続き、安芸区内の主要事業概要について説明がありました。

松田連合町内会長から阿戸町の最重要課題である「認定こども園」が、計画通り来年四月開園となるよう本庁関係部局への働きかけを強く要望しました。

そのあと意見交換会を行い、行政側との交流を深めました。

小中学校校舎改築工事が始まる

町民の長年の願いであった小中学校校舎の耐震化並びに改築工事がいよいよ八月から始まります。

今年度初めに工事開始予定でありましたが、東日本大震災のため、予算が復興資金に廻されるとのことで工事延期とされ、関係者一同がっかりしていましたが、政府の補正予算が認められ、急ぎよ工事着手となったものです。

改築工事の主な点は、耐震工事を施工し、校舎の安全性を高めると同時に、教室等を改造することで小中連携教育を進めやすくするものです。

すなわち、普通教室は、小学校校舎に集約し、特別教室は中学校校舎に集約されます。

職員室、保健室等は共用となります。

さらに、両校舎を頻繁に行き来できるようにするため、小学校校舎二階から中学校校舎まで渡り廊下が設置され、高低差なく行き来ができ、さらに、エレベーターも二基設置されます。仮設校舎は、工事完了後、それぞれ撤去されます。

工事期間中は、町民の皆様にご迷惑をおかけしますが、何とぞ宜しくお願いいたします。

認定子ども園の現状報告

阿戸認定こども園については、広島市の財政状況も厳しいことから、現幼稚園と現保育園の二つの施設を利用し、平成二十四年四月にスタートすることで広島市と協議を進めていました。

しかし、先般、広島市から六月市議会に阿戸認定こども園関連の予算を計上できず、一年先延ばしになるかも知れないと連絡がありました。

七月八日に開催された説明会で予算未計上の理由として大きく二つをあげられました。(ひとつは、四月に松井市長が就任し、新市長のもとでの施設の推進にあたって、今年度、中長期的な財政運営の見通しを立て、その上で平成二十四年度当初予算に必要となる予算を計上し、着実に実行することが基本的な考え方となった。

そのため六月補正予算は、必要最小限の事業の計上にとどめることとなった。

そしてもうひとつは、駐車場整備やカリキュラム策定など不確定要素があったことと、ということなどが説明されました。



出席者からは、平成二十四年四月にスタートできるよう九月補正予算を検討することや、それが難しかった場合、最低でも、平成二十四年四月から保育園で0歳児の受け入れを先行して行うことなどの要望が出され、広島市からも前向きに検討するとの回答がありました。

このような状況の中、当日の説明会では、若いお父さんお母さん方が、切実な思いや憤りを発言しておられました。

そして、地域の方の鋭い質問や意見で援護射撃をしていただきました。

そのひとつひとつの発言と出席者の方々の厳しく温かい眼差しに、元気な阿戸町のエネルギーを感じました。

有価資源ゴミ利益還元額

☆累計 金 百十七万六千円

資源ゴミの収集については、ご協力をいただき有難うございます。

平成十八年から収集をしておりますが、平成二十三年八月現在、百十七万六千三百二十三円となっております。

これは、「阿戸町まちづくり基金」において厳正に管理しております。

今後ともご協力をお願いいたします。

各種団体の紹介⑤

☆阿戸町防犯組合

阿戸町防犯組合は阿戸町連合町内会の助成団体で、広い意味では町民全員が防犯組合員ということができます。

その中で各区の中に一、二名、合計八名の講習を受けて、安芸区防犯組合連合会から委嘱された地域安全推進員が実質、防犯の実行部隊として活動しています。

また、所定の手続きを経て青色防犯灯装着の許可を取り、毎週一回、二名一組で夜間のパトロールを行っています。

町民の皆様も御覧になったことがありのことと思います。

さらに、児童生徒の登下校の見守りや警察からの犯罪情報の各区へ配布等も行っています。

その他、熊野交番と阿戸町防犯組合とで交番連絡協議会を結成し、共に連携しあって阿戸町の防犯活動を行っています。

本年四月、安芸消防署阿戸分団、交通安全運動推進隊阿戸支部、阿戸小PTA、阿戸中PTA、老人クラブ連合会とで阿戸地区防犯連絡協議会を結成し、情報の一元化と共有化を図ることといたしました。

幸いにして阿戸町は犯罪もほとんど無い安心安全なまちですが、いつなるとき犯罪が発生するかわかりません。

これからも気を緩めることなく防犯活動を推進してまいります。



☆交通安全運動推進隊

阿戸支部は昭和五十三年四月に結成され、現在は九名の隊員が活動しています。

八月を除く毎月一日、十日、二十日、が広島市の定例活動日。また、春、夏、秋、冬、の年四回の交通安全運動期間の各十日間活動しています。

阿戸町内においては、元旦の駅伝大会やウォークラリー参加者の安全誘導等が主な活動です。

今年の交通安全スローガンは「あぶないよ、いそぐきもちが、じこのもと」です。

言葉の意味を今一度かみ締めて、交通事故の加害者や被害者にならないよう、交通ルールを守り、ゆとりのある運転をして頂きたいと思っています。

町民の皆様にもお願いがあります。

交通安全協会の事業や活動の費用は、皆様の善意で成り立っています。

交通安全協会の趣旨に賛同いただき、一人でも多くの方が入会下さいますよう、お願いいたします。

連合町内会の活動と予算執行について

活力ある住み良い町づくりを目指し、各種の事業の実施や活動に取り組んでおります。

これらの事業や活動を行うための財源は、阿戸町内の各世帯からの年間八百円のご負担金です。

平成二十三年度予算の状況は次の通りです。

収入金額については、各世帯のご負担金五九六、〇〇〇円を含め、繰越金等で八七九、〇〇〇円です。

支出予算につきましては、青少協他の五団体への助成金が四十％（三五〇、〇〇〇円）、盆踊り大会、町民祭り、町民体育祭等への事業負担金および安芸区コミ協等への負担金が三二％（二八〇、〇〇〇円）で、他団体等への義務的負担金が七二％を占めております。

残りの僅か二八％（二四九、〇〇〇円）が町づくり事業費及び会議費、旅費等の事務諸費等で連合町内会の活動費となっております。

交通問題と子育て環境の整備に取り組み、若い世代の定住化を促進して、活力ある住み良い阿戸町を建設するための活動が重要であり、今後とも予算の効率化、重点化を図っていきます。

東日本大震災の被災者に対する義援金について

☆義援金総額 九十二万四千七百円

東日本大震災の被災者に対する義援金を募らせていただきましたところ、皆様から格段のご協力を賜り、義援金総額は、九十二万四千七百円となりました。

この義援金は、日本赤十字社を通じて被災地に送金されております。

納涼盆踊り大会

盆おどりが行われた八月十五日は、朝ひと雨あったものの、その後は真夏日の暑い一日でした。

例年午後八時開始の盆おどり大会、今年は三十分早い開始でしたが出足はいつもと同じようので、会場に急ぐゆかた姿の子どもたちも多く見受けられました。

松田盆おどり実行委員長の挨拶のあと、恒例イベントの打ち上げ花火です。

今年は例年より多い三十発が華やかに打ち上げられ『ワアッ〜きれい』『これだけ打ち上げれば見応えある』などの声も聞こえていました。

さて、子どもたちはといえますとみんな笑顔で夜の綿菓子やかき氷、金魚すくいにヨーヨー釣りと夏祭を満喫していました。

いよいよ阿戸おどりが始まり、音頭取りの方たちの音頭に合わしながら、おどりの輪がだんだん大きくなっていました。

子どもたちも小学校で教わっているので簡単に輪に加わっていました。

クライマックスは大阪より歌手の生駒尚子さんを迎えての『河内音頭』におどったり、リズムをとったりと大人も子どもも心から楽しまれました。

帰途につくころには、雲のすき間から満月が顔をだしてみなさんの足元を照らしていました。

大会準備には大変な時間と労力がかかったと思

います。

力を発揮してくださった皆さま本当にありがとうございました。



知っているようで知らない雑学

M（マグニチュード）とは地震の規模をあらわす指数です。

東日本大震災はM九・〇と国内最大でした。Mは一増えるだけでそのエネルギーはかなりの違い、M七・〇はM六・〇の三十倍にもなります。

震度というのが各地で異なる値となるのに対して、Mは一つの地震に対して一つしかありません。また、Mは地震の被害状況とは必ずしも一致しません。

たとえMが大きくても震源が遠ければ被害は少ないし、小さくても直下型となれば被害が大きくなります。関東大震災はM七・九、広島原爆はM五・二に相当します。

(4) 町内の名所旧跡シリーズ⑤

☆第五区町内会

第五区の伯耆谷には「燈石^{とのかみさま}べろ神様」と呼ばれる小さな洞が祀られています。

昔は、歯が痛くなったら「じりん石」を歳の数だけ飾り備えてお参りしていたとのこと。

遠くは四国の方からもお参りに来る人がいたほど、広く知られていたそうです。

お参りをした後は決して振り返ってはならず、振り返ったらお参りの効力が薄れるとの言い伝えがあったとのこと。

ある六十歳の人は「私もお参りしたことがある、実際に歯の痛みが治まった」と言っておられる。

よりどころとしていた先人達の気持ちを大事にしていきたいものです。

また、奥の谷線のほぼ中腹には河内神社が建立されています。

三百年以上前から祀られているお宮だそうです。

このお宮は三度の旅をされているとのこと、最初は向井泰氏付近、二度目の旅は田中秀昭氏宅北側

付近で大正ころに現在の地に定住されたと言われています。

いまでは、年二回のお祭り（お初穂、麦初穂）が催され、境内の清掃などに集い、町内会員の交流の場となっています。



平成二十二年行事報告及び二十三年度行事予定

※クリーンキャンペーン 三月六日（日）

阿戸町内

※ウォークラリー 三月十三日（日）

阿戸町内

※納涼盆踊り大会 八月十五日（日）

阿戸小学校グラウンド



「四こま漫画」

について

人情味の豊かな、阿戸町をイメージしています。これは、第2区町内会の藤岡由紀美さんの作品です。

編集後記

今年の三月十一日の東日本大震災は、近年日本人が体験したことのない未曾有の災害となりました。

多くの死者、行方不明者を出し尊い命が奪われ、家族を亡くされた方々の悲しみとご苦労、その上に、原子力発電所の放射線被害が長引き、出口の見えない状況になっています。

こんな状況の中、光も見えています。そのひとつに、被災地で子ども達が笑顔で活動している姿です。これからの日本の復興を支えていくのは子ども達です。今こそ、私たち大人は、日本の、そして阿戸の子ども達の未来のために、今一度立ち止まり知恵を出し合う必要があると思います。

（古井 智子）

☆敬老会 九月一八日（日）予定

阿戸福祉センター

☆町民体育祭 十月二日（日）予定

阿戸小学校グラウンド

☆区民まつり 十一月十三日（日）予定

安芸区役所及び安芸区民センター

☆阿戸町民まつり 十一月二十日（日）予定

阿戸福祉センター

☆阿戸町駅伝大会 一月一日（日）予定

阿戸町内

